

2 - 1 青森県岩木山麓の群発地震について (II)

Earthquake Swarm that occurred at the foot of Mt. Iwaki, Aomori Prefecture (II)

気象庁 地震活動検測センター
SAMC, Japan Meteorological
Agency

岩木山麓の群発地震については、臨時に展開された弘前大学を中心とした地震観測網によって詳しく観測され、震源域やその変動が明らかにされた¹⁾。

気象庁では1973年3月28日以降、震源域から十数km離れた弘前気象通報所に地震計(倍率2,000倍)を設置して、地震活動の推移を観測している。一方、5月16日から30日までの間、火山観測機動班が百沢・鬼沢・岩木山頂・藤代・大森の5地点に地震計(倍率2,000～10,000倍)を設置して地震活動を観測した。そして、赤沢・湯の沢・岳温泉・湯段温泉・百沢温泉・鳥の海爆裂火口などでは、火山ガス、水温、pHなどの現地観測を行ない、2年前の1971年6月11日～7月5日の観測結果と比較した。その結果、この群発地震は5月末現在、岩木山の火山の表面活動に影響を及ぼしていないことがわかった。

なお、青森地方気象台では青森県や弘前市などの協力を得て、11月7日の有感地震(震度I)の発生以来現在まで、有感地震の発生の推移を調べているが²⁾、その変動は、第1図のようになっており、震度別分布は第2図となっている。

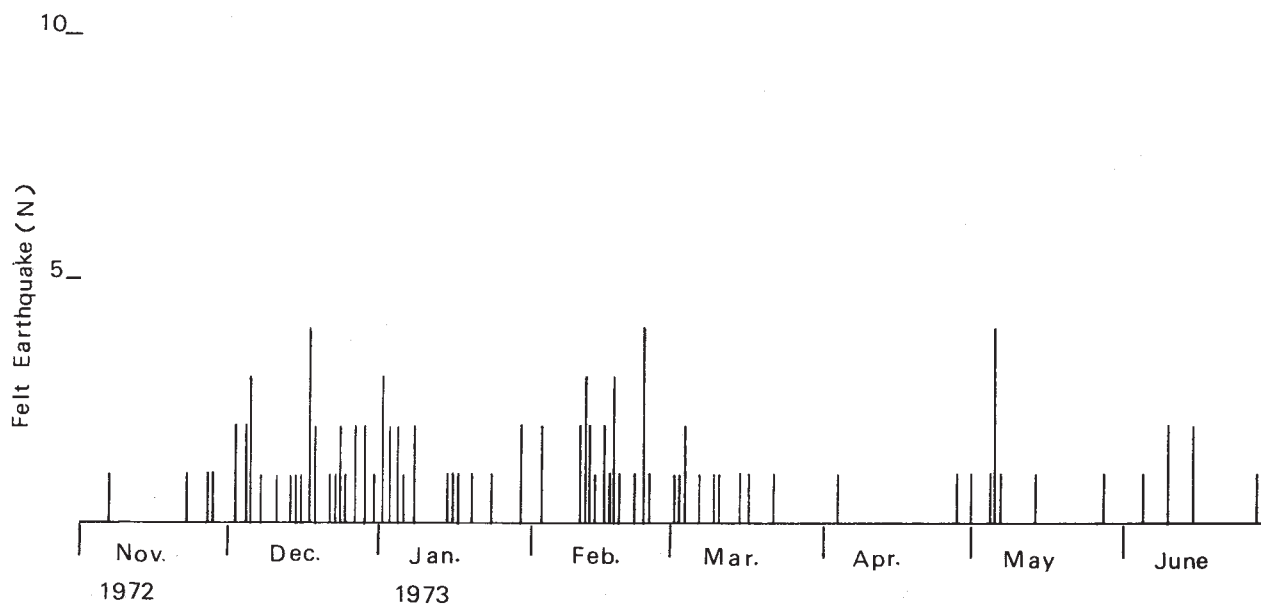
参 考 文 献

1) 弘前大学, 東北大学, 青森県岩木山麓に発生した群発地震について

連絡会会報, 9, 23 - 26, 1973

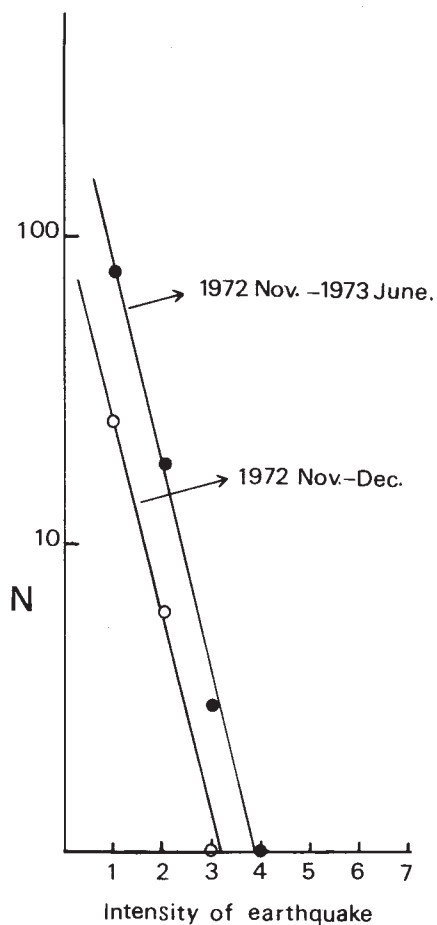
2) 気象庁, 地震活動検測センター, 青森県岩木山麓の群発地震について

連絡会会報, 9, 15 - 17, 1973



第 1 図 岩木山周辺の有感地震回数の変動

Fig. 1 Variation of number of felt earthquakes near Mt. Iwaki



第 2 図 岩木山周辺の地震の震度別分布

Fig. 2 Relation between the frequency and the intensity of earthquake near Mt. Iwaki